

高度IT人材を育成する
グローバル資格・ITスキルをサポート



目次

アイテックのご紹介	P1
アイテックの学習方法	P2
アイテックのIT人材育成	P3
オンサイトセミナー	P4
プロジェクトマネジメント	P8
PMP® (プロジェクトマネジメント)	P9
BA (ビジネスアナリシス)	P14
アジャイル	P15
ITIL®	P17
ITIL® 上位資格	P19
セキュリティ関連	P20
PCI DSS	P21
セキュリティエンジニア養成講座	P23
商品一覧	P25
お申込み/お問い合わせ	P26
会社概要	P27

※PMP®は、プロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc)の商標登録です。

※株式会社アイテックは、R.E.Pとして提供するトレーニングコースに対しPDUを発行することをPMI®によって承認されています。

アイテックのご紹介

IT人材の育成を通じて社会の発展に貢献する

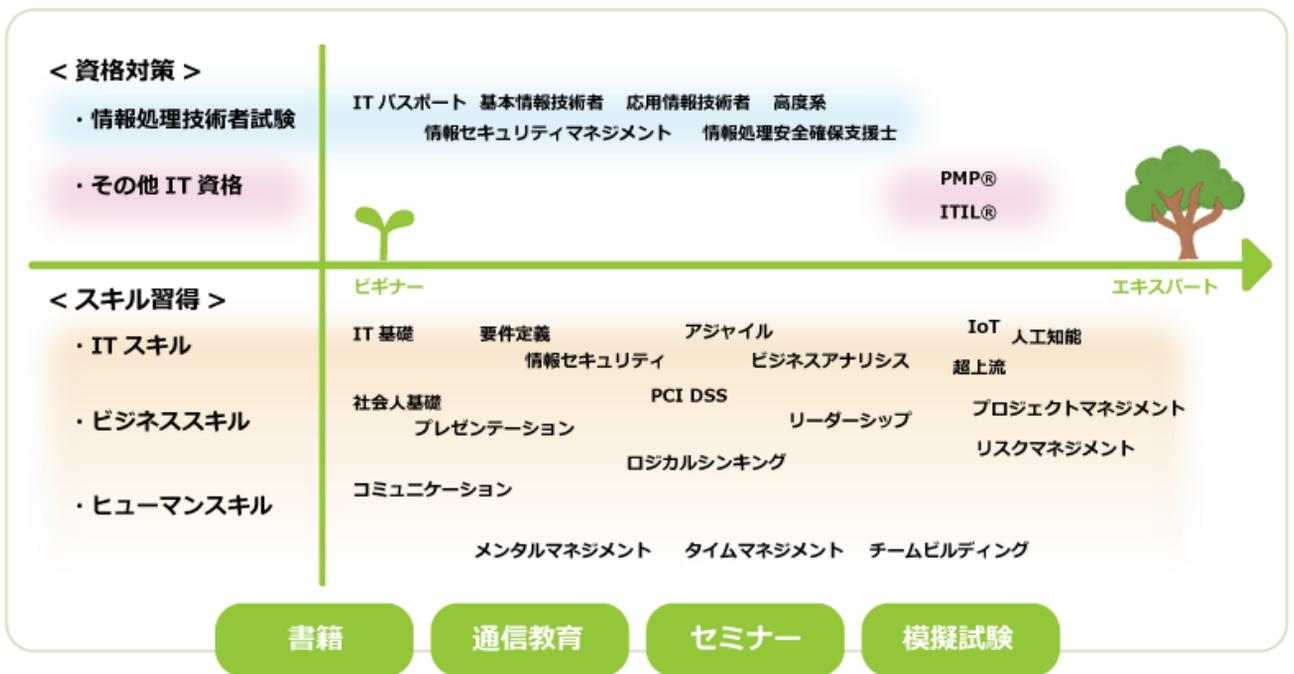
アイテックはこれからの社会を担うIT人材の育成を通じて社会の発展に貢献します。

1983年に国内の民間事業者として初めて情報処理技術者向けの国家試験「情報処理技術者試験」のための教育サービスを開始しました。以来、この分野でのトップランナーとして試験対策通信講座の提供、テキストの出版を事業の核としつつ、お客様のご要望にお応えするために技術知識、マネジメント、ヒューマンスキルへと教育分野を拡大し、IT人材育成をトータルにサポートする専門事業者として発展してまいりました。1983年（昭和58年）以来、35年以上にわたりIT人材育成の専門事業者として、延べ法人約8,000団体、90万人の皆様にご利用いただいております。

アイテックが提供する人材教育

アイテックは、情報処理技術者試験対策に限らず、IT人材育成に携わって35年以上のノウハウと、幅広い教育分野に対応できる講師陣の力を活かし、IT基礎やヒューマンスキルから、マネジメント教育まで、アイテックが貴社の人材教育をトータルコーディネートいたします。

書籍・通信教育・セミナー・模擬試験の4つの学習方法でアプローチするため、どんな方でも明確な目標とよりやりがいをもって学習していただけます。



条件に合った学習方法が選べる

アイテックでは、学習手段として、書籍・eラーニング・模擬試験・セミナーをご用意しております。

また、これらの学習教材をブレンドし、コースとして提供しております。

クラウドコンピューティング・グローバル化など、時代が求めるIT人材の様々な育成ニーズに対応し、客観的な現状分析に基づく研修計画と、実施効果の定量的な把握が可能なPDCAサイクルに基づくアイテック独自の人材育成サービスを提供します。

アイテックの学習方法

種類豊富な書籍

1994年初版以来、17版累計出荷部数20万部を超える「コンピュータシステムの基礎」をはじめ、問題集等の定期刊行書籍など豊富な教材を数多く取り揃えています。

PMP®試験対策必携本としてご好評いただいている「PMP®試験合格虎の巻」は2006年1月に日本人の執筆者による初のPMP®試験対策書として発刊以降、PMBOK®ガイド改訂にあわせ、継続していち早く改訂を行っている試験対策書です。



eラーニングシステム「Learnius（ラーニアス）」

アイテックのeラーニングシステム「Learnius（ラーニアス）」では、演習問題（Webテスト）をはじめ、DL可能なPDFや動画による詳細解説、受講者のスコアランキングとWebの特性を活かしたコンテンツを利用いただけます。ブラウザコンテンツなのでPCはもちろん、タブレット・スマートフォンで場所と時間を選ばず学習が可能です。書籍やテストを組み合わせた通信教育コースもご用意しております。

Learnius（ラーニアス）では、Web受講のみでPDUが取得可能なコースをご提供いたします。忙しい方もご自身のスケジュールに合わせて受講いただけます。

プロ講師による最適な模擬試験の提供

アイテックでは情報処理技術者試験の全国統一公開模試をはじめ、講師陣が監修した、「目的のIT教育に最適なテスト」をアセスメントテストとしてご提供いたします。教育前に受講生の知識レベルを知りたい、セミナーでの研修後の成長成果を測りたい、資格試験前に現在の実力で合格率を確認したいとお考えでしたら、ぜひお気軽にご相談ください。

課題に応じて組み立てるセミナーと丁寧なフォローサービス

150名以上の講師陣の幅広い教育分野を活かし、貴社の課題を解決するためのセミナーをご提案いたします。また、アセスメントテストやフォローメールを活用し、セミナーによって得た知識が課題解決の取り組みに活かされるよう「定着化サービス」をご提供いたします。

また、アイテック主催のオープンセミナーでは、情報処理技術者試験対策講座「合格ゼミ」とIT技術者のためのスキルアップ講座「実践力強化ゼミ」を開催しております。詳細は別冊カタログをご覧ください。

4つの学習方法を駆使し、貴社の課題にあった教育をご提案いたします

貴社の課題解決のための人材教育をご提案いたします！

<こんなお悩みを抱えていませんか？>

- ・ 入社後、新入社員のモチベーションを保ち、会社に定着させたい。
- ・ エキスパートスキルを持った社員を育てたい。
- ・ 働き方改革のために、現場の意識改革を促したい。
- ・ チーム力を高めて作業効率を上げたい。 などなど

⇒ **人材教育にお困りのことがございましたら、一度アイテック教育事業本部へお問い合わせください！**

アイテックのIT人材育成

幅広いIT資格・ITスキルに対応

アイテックでは、情報処理技術者試験をはじめ、PMP®・ITIL®などの各種IT資格・試験の対策に対応しております。皆さまのスキルアップを幅広くサポートいたします。

情報処理技術者試験	別冊 専用カタログにてご紹介	
グローバル IT資格	国際的な活躍を目指す日本人プロジェクトマネージャを応援	
PMP®	<p>プロジェクトマネジメントスキルの国際的な評価基準 米国PMI (Project Management Institute) が認定するプロジェクトマネジメントに関する知識、理解度ををはかることを目的にした資格試験です。 【提供教材】書籍・eラーニング・宿題メール・セミナー</p>	P9 ~ P13
ITIL® ファンデーション	<p>情報システムフレームワークの事実上の世界的業界標準 ITIL®とは、1980年代前半に英国政府のOGC (Office of Government Commerce) が作成したITシステムの運用や保守を効率的に管理・実践していくための業務ノウハウと成功事例をまとめたものです。ITILファンデーション試験では、「ITILが定義する基本的な概念・用語を理解していること」を要求されます。 【提供教材】通信教育コース (書籍+eラーニング)</p>	P17 ~ P18
ITIL® プラクティショナ	<p>ITIL®プラクティショナはITIL®を参照としたITサービスマネジメントの導入や改善を行うための基本的なスキルを有していることを認定する試験です。 【提供教材】セミナー</p>	P19
ITIL® インターミディエイト	<p>より専門的なITIL®知識習得の証明となります。ライフサイクルとケイパビリティの各専門分野から認定教育コースを受講し試験に合格することによって認定されます。 【提供教材】セミナー、事前学習 eラーニング付きセミナー</p>	P19
CND (認定ネットワークディフェンダー) CEH (認定ホワイトハッカー)	<p>情報セキュリティ人材を実践的に育てる GSXが開講しているEC-Council認定資格です。実践演習を通し、情報セキュリティの即戦力となる人材を短期間に育て上げます。 【提供教材】セミナー+eラーニング</p>	P23 ~ P24
ITスキル	知識体系を学び、IT技術者のスキル向上を支援	
ビジネスアナリシス (BABOK®)	<p>BABOK®は、要求の体系を明らかにし、要求を定義するために必要なタスクを定義する国際的な標準となる知識体系です。 【提供教材】書籍、eラーニング</p>	P14
アジャイル	<p>非ウォーターフォール型のソフトウェア開発手法のひとつです。PMBOK®ガイド第6版からアジャイル型プロジェクトの知識が追加され、PMBOK®ガイドとの関連性が高まりました。 【提供教材】オンサイトセミナー、eラーニング</p>	P15 ~ P16
PCI DSS	<p>国際カードブランド5社が定めた、クレジットカード会社、加盟店、その他関連事業者を対象としたカードデータのためのセキュリティ基準です。一般社団法人日本クレジット協会が対象企業へPCI DSS準拠を要請しています。 【提供教材】eラーニング</p>	P21 ~ P23



POINT

アイテックはPMI®から教育プロバイダであるR.E.P. (Registered Education Providers)として認定をうけており、提供するコースに対しPDUを発行することをPMI®から承認されております。また、ビジネスアナリシス啓発を行うIIBA®のEEP教育プロバイダとして認定をうけており、CDUの発行が可能です。

高度なIT教育もお任せください
オンサイトセミナー



アイテックのセミナーについて

開催方法

- **オンサイトセミナー**
(1社・複数社合同での開催)
貴社の課題や要望にあわせた研修を提供いたします。研修で得た内容を職場で実践、習慣化するための「定着化サービス」もご紹介します。
- **オープンセミナー**
(アイテックの開催)
アイテック主催の法人、個人、どなたでも参加可能な講座です。情報処理技術者試験には『合格ゼミ』、スキルアップのためにはIT技術者のための実践的講座『実践力強化ゼミ』を開催しております。詳しい開催情報は別冊カタログがございますのでお気軽にお問合せください。

オンサイトセミナー開催までの流れ



社員教育にお悩みがあれば、ぜひアイテックまでお問合せください。貴社の研修の目的や課題をお伺いして、最適なプランをご提案いたします。



担当講師と打合せ！
日程や内容を再確認し、正式カリキュラムを作成します。



いよいよ研修スタート！
研修中も担当営業がしっかりとサポートいたします。



オンサイトセミナー開催例

資格試験の対策講座はもちろん、ビジネススキルや、マネジメントスキル、最新のIT技術の実践講座など、幅広い経験を持つ講師が揃うアイテックだからこそ、豊富な研修のご提供が可能です。ぜひ御社のお悩みをご相談ください。

良くお聞きする課題

1	生産性向上	時間管理や会議時間など、生産性を低下させている問題を改善
2	マネジメント力強化	立場や相手を具体的に想定した、細やかなマネジメント研修
3	顧客ビジネス理解	ビジネスアナリシスやロジカルシンキングなどの手法や会計など専門知識の概要も
4	営業力強化	営業職のみならず、SEやPMにも、顧客と対話し提案できる力を習得する研修
5	ダイバーシティ & シニア	女性活躍推進、海外人材、シニア活躍のために本人・周囲の意識と環境を変える
6	セルフモチベーション	新人からベテランまで、状況に適したセルフマネジメント力強化研修
7	業界動向理解	人工知能やIoTなど、最新の技術の業界動向から技術実践まで

オンサイトセミナー

実施コース例

■ビジネススキル・ヒューマン系研修

生産性向上

- ・仕事のスピードを上げる段取り力研修
- ・生産性を上げるタイムマネジメント研修
(新人・若手・管理職向け)
- ・チームの生産性を上げる効率化研修
- ・結果の出る会議研修
(参加者・ファシリテータ向け・実践)
- ・伝達コミュニケーション研修
- ・ロジカルライティング研修 (初級編・指導力強化編)

マネジメント力強化

- ・リスクマネジメント実践
- ・ステークホルダーマネジメント実践
- ・プロジェクトマネジメント実践
- ・ITサービスマネジメント実践 (移行/運用)
- ・SEのためのチームマネジメント研修
- ・部下を持ったら知っておくべきリーダーカ向上研修
- ・部下育成のためのコミュニケーション研修
- ・部下との対話と目標管理研修
- ・ハラスメントを起こさない職場作り研修
- ・当事者意識醸成と主体的リーダーシップ研修
- ・リーダーシップとマネジメント研修
- ・女性リーダーのためのマネジメント研修

顧客ビジネス理解

- ・顧客の課題を解決するビジネスアナリシス実践
- ・顧客の問題解決のためのロジカル思考強化研修
- ・顧客ニーズを引き出す要件定義 (BA) 実践
- ・OJTによるメンバー育成研修
- ・会計の基礎研修

営業力強化

- ・SEのための営業力 (ビジネスマインド) 強化研修
- ・SEのための提案力強化実践
- ・人間関係を強化する アサーティブ研修
- ・『期待値を超える行動』を引き出すホスピタリティ研修
- ・理系脳のための 顧客を怒らせない会議術
- ・相手の心を動かすプレゼンストーリーの作り方研修

ダイバーシティ & シニア

- ・女性活躍推進研修
- ・グローバルビジネスコミュニケーション研修
- ・シニア社員向け キャリアプラン研修
- ・シニア社員向け 後進の指導・育成研修

セルフモチベーション

- ・逆境力・折れない心の育て方 レジリエンス研修
- ・キャリアデザイン研修
- ・マインドマップセルフコーチング研修
- ・「人生100年時代」の働き方を考える研修

■テクノロジー系研修

基礎理論

- ・コンピュータシステムの基礎研修
- ・アルゴリズム基礎研修
- ・プログラミング基礎研修
- ・オブジェクト指向とUML研修

コンピュータシステム

- ・Linux基礎研修
- ・Windows基礎研修
- ・LPIC1・2試験対策
- ・性能の要求分析と設計研修
- ・信頼性の要求分析と設計研修

技術要素

- ・データベースの基礎研修
- ・SQL入門研修
- ・SQL集計/分析
- ・ネットワークの基礎研修
- ・ネットワークサーバ構築研修
- ・情報セキュリティの基礎研修

開発技術

- ・要件定義研修
- ・非機能要件定義研修 (非機能要求グレード)
- ・設計技法研修
- ・テスト技法研修

業界動向理解

- ・SEのための人工知能活用
- ・IoTを活用した新規事業の創出

※ビジネス・ヒューマン系、テクノロジー系とも、上記コースは一例です。
お客様の課題に沿って研修内容を企画・カスタマイズいたしますので
担当営業までご相談ください。



POINT

**オンサイトセミナーの
PDU/CDUの発行申請を
ご相談ください！**

オンサイトセミナーの研修時間を、
PDU (またはContact hours) 、
CDUとして発行申請が可能な場合がございます。
研修内容によりますので、
PDU/CDUの発行をお考えでしたら、
お気軽に弊社営業にご相談ください。

オープンセミナー

IT技術者のスキルを磨くオープンセミナー 『実践力強化ゼミ』

PDU取得
セミナー

“資格”の次は?“実践力”! IT市場で求められるIT技術者になる!!

IT技術者に求められるスキルを実務経験豊富な講師から学べる、実践力に特化した講座です。IT超上流からマネジメントスキル、最新のIT動向に対応したIoTや人工知能の講座もございます。同じカリキュラムのオンサイトセミナーも開催可能です。開講日やカリキュラムの詳細は、別冊カタログまたは下記Webページにてご紹介しております。

■ 講座例

IT超上流	ITイノベーション
顧客の課題を解決するビジネスアナリシス実践	SEのための人工知能活用
SEのための提案力強化実践	IoTを活用した新規事業の創出
演習で身に付ける非機能要件定義実践	
プロジェクトマネジメント	ITサービスマネジメント
失敗しない要件定義実践	ITサービスマネジメント実践（移行/運用）
失敗しないリスクマネジメント実践	
失敗しないステークホルダーマネジメント実践	ITビジネスカ
SEのためのチームマネジメント実践	SEのためのロジカルライティング実践

■ 実践力強化ゼミWEBページ

<https://www.itec.co.jp/howto/seminar/#a01>



情報処理技術者試験オープンセミナー 『合格ゼミ』

午後試験を中心に解法テクニックを、プロ講師による直接指導で伝授!!

多くの合格者を輩出している情報処理技術者試験対策講座です。

- ・スタートダッシュ講座（1日・基本情報技術者のみ）
- ・午後対策講座（1～3日間）
- ・直前対策講座（1日）

を開催しています。

3日間の講座は人材開発支援助成金の対象コースとなります。

80%以上の受講生が「理解が深まった」と回答した、実績のある資格対策オープンセミナーです。

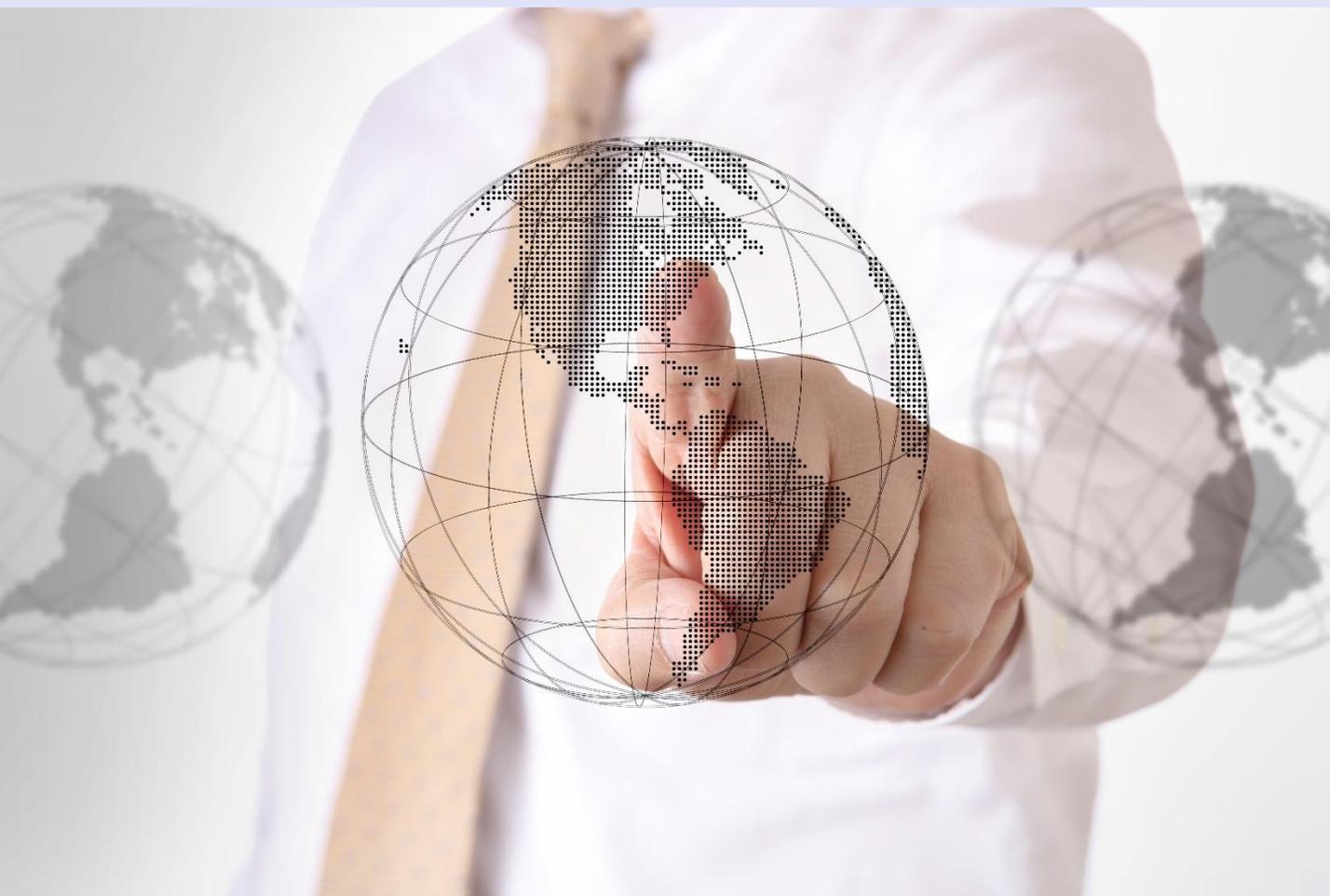
■ 合格ゼミWEBページ

<https://www.itec.co.jp/howto/seminar/#a02>



グローバルに通用するスキルと資格

プロジェクトマネジメント



PMP®
BA (ビジネスアナリシス)
アジャイル
ITIL®
ITIL®上位資格

PMP[®]について

PMP[®]について

近年の変化の激しい経済環境においては、企業がより高い生産性や品質管理を求めようになり、プロジェクトマネジメント力の向上が企業の繁栄・存続に非常に重要であることが認識されています。PMP[®]試験とは、プロジェクトマネジメントに関する知識、理解度をはかることを目的とした、米国PMI[®] (Project Management Institute) が認定する資格試験のことです。プロジェクトマネジメントについてのスキルを評価する上で、世界中で事実上の標準となっています。

PDUについて

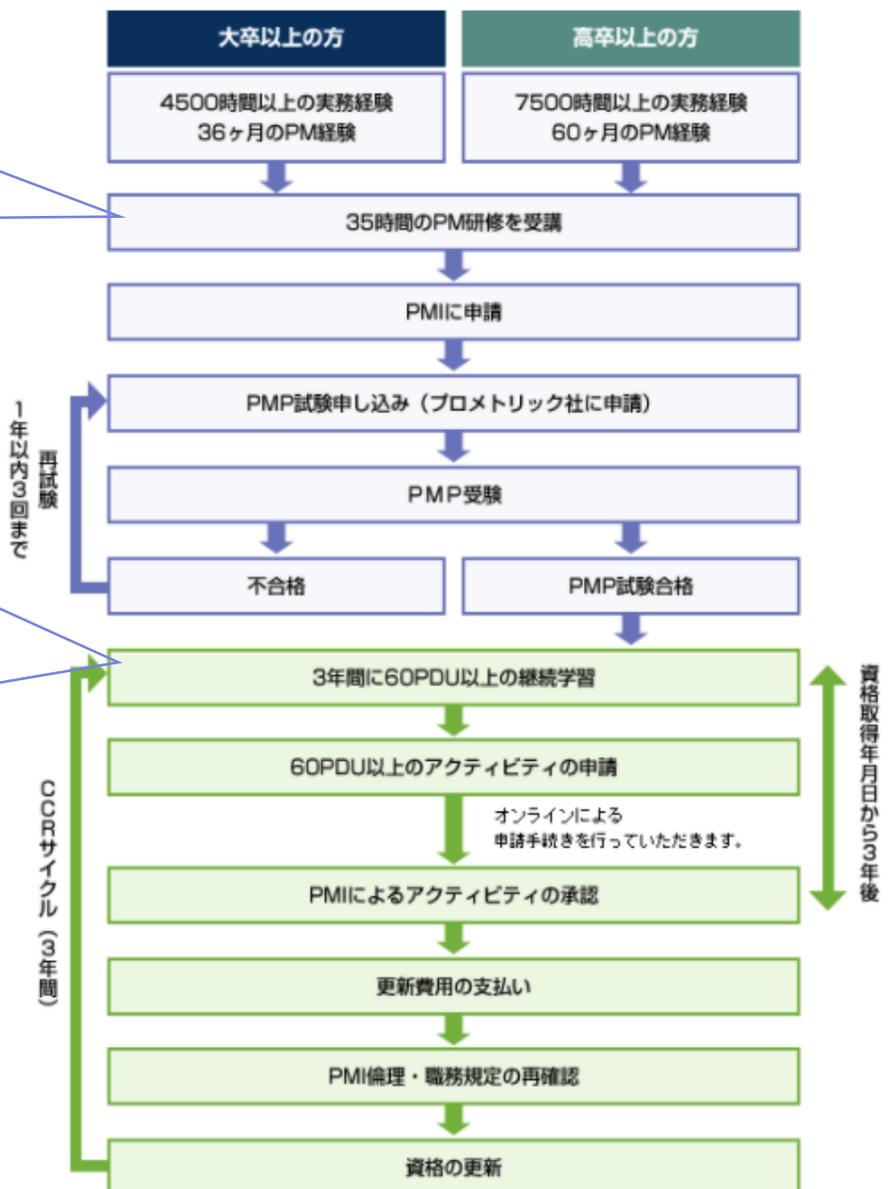
PDUとは、承認された学習やプロフェッショナルとしてのサービス・アクティビティを定量化する計測単位です。1PDUは1時間に相当し、1時間を越えれば0.25単位で申請することができます。教育カテゴリーが細分化され、資格取得後のCCRサイクル従事の際、「テクニカル」「リーダーシップ」「ストラテジー」のサブカテゴリーで、各サブカテゴリーで最低8PDU (合計で60PDU以上) を取得する必要があります。

PMP[®] 資格取得から更新の流れ

PMP[®]試験申し込みのために、規定時間以上の実務経験とPM経験に加え、**35時間 (35Contact Hours) 以上のPM研修が必要**となります。

PMP[®]は、試験に合格して資格保有者となった後も、継続的な教育および職務能力の育成のため、CCRサイクルに従事する必要があります。

3年間に60PDU以上の継続学習をし、アクティビティの承認を得なければなりません。1つのコースで複数のサブカテゴリーの内容が盛り込まれているコースも対象になります。



アイテックのPMP®関連教材

アイテックのPMP®試験対策

試験対策必携の参考書『PMP®試験 合格虎の巻』をはじめとした実績ある教材ラインナップ

■ PMP®試験対策書



PMP®試験 合格虎の巻 第6版対応

PMBOK®ガイド第6版をわかりやすく丁寧に解説しており、好評をいただいております。自己学習に悩まれている方にぜひ手に取っていただきたい試験対策必携の一冊です。分野別の重点ポイントの解説から、章末問題・模擬試験による掲載問題435問の問題演習によって、PMBOK®ガイドの理解から、模擬試験までこの一冊で学習いただけます。

■ 定価：¥3,200(税別)



PMBOK®ガイド問題集 第6版対応

この問題集は、PMI®自身が知識や業務の手法を幅広く理解する助けとして、編纂し発行されています。

原典である英語版をPMI®の許可を得て、日本語の書籍として翻訳・出版しています。

■ 定価：¥1,700 (税別)



プロジェクトマネジメント リテラシ

プロジェクトとは何か、対象、技法、プロジェクトメンバーに必要な知識と能力にそれぞれ焦点をあて、概要やどのようなアプローチで理解していくかをわかりやすく解説。

■ 定価：¥2,700(税別)

■ 通信教育コース

PMP®試験対策コース+宿題メール（第6版対応）



試験で出題される知識項目をまとめた『PMP®試験 合格虎の巻』に、繰り返し演習が可能で弱点補強に最適なeラーニング、問題集、重要問題をメールアドレスに配信する『宿題メール』をセットにした、試験対策のための通信教育コースです。

修了条件を満たすと、受験に必要な35Contact Hoursの内、15Contact Hoursを取得できます。

■ 定価：¥35,000(税別)



POINT

事前学習 35時間（35Contact Hours）以上を取得するためにオススメの教材は…

PMP®試験対策コース 第6版対応 宿題メール付で学習後、試験対策セミナーを行うと、受講者の理解がぐっと深まります！ご多忙でセミナーの日程調整が難しい場合は、PDU取得eラーニングを、複数講座受講いただくこともオススメです。（各コースの取得PDU数がContact Hours数となります。）

アイテックのPDU取得教材

分野	教材名	学習形態	取得PDU
PMP®	プロジェクトマネージャ養成コース	eラーニング	25PDU
	プロジェクトを基盤とする情報活用戦略マネジメント	eラーニング	10PDU
	プロジェクトマネージャに求められるリーダーシップ	eラーニング	10PDU
ビジネスアナリシス	BA概説講座（BABOK® Ver.3対応）	eラーニング	12PDU
アジャイル	アジャイル開発の基礎	eラーニング	5PDU
ITIL®上位資格	プラクティショナ通常コース（試験なし）	集合研修	14PDU
	インターミディエイト通常コース（試験付）	集合研修	40PDU
	インターミディエイトブレンドコース（試験付）	eラーニング +集合研修	30PDU
ITスキル実践	実践力強化ゼミ（1日講座）	オープンセミナー	8PDU

PMP® 通信教育コース

PMP® 試験対策コース
+宿題メール（第6版対応）

15Contact Hours

受講期間

随時開講 6か月

修了条件

- すべての学習コンテンツを受講すること
- すべての必須テストを受験し、正答率が60%以上であること
- すべての演習課題を提出すること

35,000円（税別）

初めてPMP®資格の取得を目指す方へ！
重要ポイントの理解から、模擬試験までサポート

■ セット内容

PMP®試験 合格虎の巻
第6版対応書籍のみに掲載
50問

eラーニング

- ・ポイント整理 虎の巻PDF
- ・分野別Webテスト

Webテスト+
書籍に掲載
800問宿題メール
1日2問配信（土日除く）
全150問PMP®試験対策問題集
400題 第6版対応
全400問

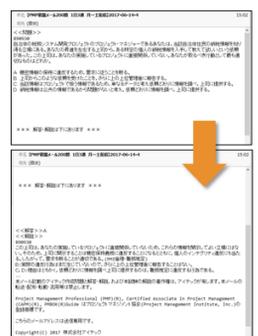
総問題数 1,400問！

■ eラーニング

テスト名 (WEB)	出題数	出題形式	制限時間
分野別テスト(プロジェクトマネジメント・フレームワーク)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクトマネージャの役割)	6	ランダム	15分
分野別テスト(プロジェクト統合マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト・スコープ・マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト・スケジュールマネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト・コスト・マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト品質マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト資源マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト・リスク・マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト調達マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント)	20	ランダム	30分
分野別テスト(プロフェッショナルの役割と責任)	10	ランダム	15分
分野別テスト(全分野)	20	ランダム	30分
模擬テスト	200	固定	240分

■ 宿題メール

教材として付属する書籍『合格 虎の巻』に収録されている問題は基本的に除いた試験対策の重要問題を、ご登録頂いたメールアドレスに毎日2問ずつ配信。（祝日含む月～金曜日）
配信問題はアイテックのオリジナル問題です。
受信したメールを「正解フォルダ」「不正解フォルダ」に振り分け、試験直前に「不正解フォルダ」の問題をまとめて解くことで、苦手分野の試験対策になります。

POINT
01メールの上部に
問題と選択肢を表示POINT
02スクロールして、
解答と解説をチェック

PMP® eラーニング

PMP®試験対策コース+宿題メール（第6版対応）とセットで学習すれば、PMP®受験申請に必要な35時間以上の学習証明の取得が可能です。

プロジェクトマネジメントの考え方や、PMBOK®に対応したマネジメントスキルを身に付けるだけでなく、ITプロジェクトの立ち上げから終結までの一連のプロセス群をどのようにマネジメントしていくか、PMに必要な法律知識やヒューマンスキルをWEB学習にて身に付けられます。

プロジェクトマネージャ
養成コース

テクニカル 25PDU

受講対象者

- PMBOK®ベースのプロジェクトマネジメント基礎知識を習得している
- ITシステム開発プロジェクトにメンバーとして参画した経験がある方
- PMP®試験受験者でPDU取得が必要な方、PMP®資格取得者でPDU更新が目的の方

受講期間

随時開講 6か月

修了条件

- すべての学習教材、演習課題を実施していること
- 章末問題、修了テストの正答率が70%以上であること。

48,000円（税別）

章別	主要学習項目(単元)
プロジェクトとプロジェクトマネジメント	企業活動とプロジェクト/プロジェクトマネジメントの必要性/プロジェクトマネジメントを取り巻く概念
プロジェクトの立ち上げ	ビジネスアナリシスと要求分析/ステークホルダ特定/プロジェクト憲章の作成
プロジェクト計画	プロジェクト計画の全体像/スコープ定義/スケジュール作成/コスト見積りと予算設定/品質計画/人的資源計画/コミュニケーション計画/調達計画/ステークホルダマネジメント計画/リスクマネジメント計画/プロジェクト計画書作成とキックオフ
プロジェクト実行	プロジェクトの実行と監視・コントロール/スコープ管理と変更管理/進捗管理/アーンドバリューマネジメント/コスト管理/品質管理/要員管理/コミュニケーション管理/調達管理/ステークホルダ管理/リスク管理/プロジェクトにおけるセキュリティ
プロジェクトの終結	プロジェクトの終結
プロジェクトマネージャに求められる素養	人間関係のスキル/リーダーシップとコンフリクトマネジメント
法律に関する知識	契約関係/知的財産関係
修了テスト	25問（自己採点/添削なし）

● 受講者の声 ※2018年10月時点の受講者アンケート結果を集計

アイテックのプロジェクトマネージャ養成コースは
受講生から高い満足度を得ております！！



コースは、よく構成されていた。

非常にそう思う 26% / そう思う 70%

教材コンテンツは、
学習目標の達成に役立つものだった。

非常にそう思う 26% / そう思う 67%

本コースの受講をとおして、知識の
習得、スキルアップすることができた。

非常にそう思う 26% / そう思う 70%

映像コンテンツだけでなく音声付で解説が行われていた。
PMBOK®の知識エリアごとに理解できるように整理されていた。
全体的に実務的な観点も多分に盛り込まれていて楽しく学べた。

PMP®受験に役に立つ内容であった。
体系を学ぶ以外に、実際の経験則に基づく知識も習得できる。
教材のコンテンツが実際のプロジェクト運営に沿っていた。

担当業務だけでは経験できないベンダやユーザ企業の視点も
カバーされており勉強になった。
普段意識せずやっていた事の原因を知り、理解が深まった。
PMP®試験問題を見て、問題の意図が理解できるようになった。

プロジェクトマネージャがプロジェクト分析及び評価結果などの情報をいかに効率的に活用し、戦略の策定・見直しを行っていくかなど、戦略的マネジメントがWEB学習にて身に付けられます。

プロジェクトを基盤とする 情報活用戦略マネジメント

ストラテジック10PDU

受講期間

随時開講 6か月

修了条件

- すべての学習コンテンツを受講すること
- すべての章別確認問題を受験し、正答率が70%以上であること
- すべての演習課題を提出すること
- 修了テストを受験し、正答率が70%以上であること

25,000円（税別）

章別	学習項目	学習コンテンツ
1	企業活動の流れと情報活用戦略	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
2	組織のストラテジ分析とギャップ分析	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
3	戦略を実現するためのプログラム計画とプロジェクトの立ち上げ	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
4	費用対効果分析	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
5	環境の変化に即応するためのチェンジマネジメント	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
6	ソリューションの評価と継続的改善	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
修了テスト		

受講生の声

- ・各章のテーマや目的が明確だった。
- ・情報戦略マネジメントのポイントが習得できた。
- ・ビジネス上でも想定できる学習内容だった。
- ・レポート作成の課題が今後の業務に役立つと感じた。
- ・上流工程から学習することができ有用に感じた。

※2018年10月時点の受講者アンケートより一部抜粋

あるべきリーダー像の明確化・チームビルディング・コミュニケーションスキル・ネゴシエーションスキルなど、プロジェクト推進に必要なリーダーシップを発揮するためのスキル、プロセスをWEB学習にて身に付けられます。

プロジェクトマネージャに 求められるリーダーシップ

リーダーシップ10PDU

受講期間

随時開講 6か月

修了条件

- すべての学習コンテンツを受講すること
- すべての章別確認問題を受験し、正答率が70%以上であること
- すべての演習課題を提出すること
- 修了テストを受験し、正答率が70%以上であること

25,000円（税別）

章別	主要学習項目(単元)	学習コンテンツ
1	プロジェクトを成功に導くリーダーシップ	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
2	チーム活性化のためのチームビルディング	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
3	メンバーとの信頼関係構築のためのコミュニケーション	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
4	合意形成のためのネゴシエーション（交渉）	教材（動画）→章末確認問題 →演習課題
修了テスト		

受講生の声

- ・わかっているつもりでも体系的に理解できていないリーダーシップについてよく整理されていた。
- ・リーダーに求められるものが理解できた。
- ・リーダーシップに必要なポイントが明確になった。
- ・業務に活かせると感じた。

※2018年10月時点の受講者アンケートより一部抜粋

BA（ビジネスアナリシス）

■ eラーニング

ビジネスアナリシスとは、適切な要求定義を行い、ITプロジェクトを成功に導くための手法です。本コースは、BABOK® Ver.3に基づき、要求定義するために必応な知識体系をWEBにて学習できるコースです。

BA概説講座 (BABOK® Ver.3対応)

ストラテジック12PDU

および12CDU*

受講期間

随時開講 6か月（標準 12時間）

修了条件

- すべてのChapterを受講していること
- 全ての確認テストを受験し、正答率が70%以上であること
- 実例演習課題を全て提出していること

30,000円（税別）

《学習項目》

	学習項目	学習コンテンツ
1	ビジネスアナリシスとBABOK®	教材（動画）→実例演習問題
2	ビジネスアナリシスの計画とモニタリング	教材（動画）→確認テスト
3	引き出しとコラボレーション	教材（動画）→確認テスト→実例演習問題
4	要求のライフサイクル・マネジメント	教材（動画）→確認テスト
5	戦略アナリシス	教材（動画）→確認テスト→実例演習問題
6	要求アナリシスとデザイン定義	教材（動画）→確認テスト→実例演習問題
7	ソリューション評価	教材（動画）→確認テスト
8	基礎コンピテンシ	教材（動画）→確認テスト
9	専門視点	教材（動画）→確認テスト

※EEP教育プロバイダとして認定を受けており、CDU取得可能コースとして認められています。

※CDUはPDUと平行して取得することが可能です。

※CDUの発行が必要な場合は、あらかじめ担当営業またはアイテックサービスデスクへご相談ください。

■ 書籍



ビジネスアナリシス知識体系ガイド Version 3.0

今注目のビジネスアナリシスの知識体系を網羅！！

ビジネスアナリシス知識体系ガイド（BABOK®）は、課題や問題を解決するための手段を、タスクとテクニックの集まりに整理してまとめたものです。

《書籍概要》

刊行日：販売中

販売価格：9,000円(税別)

原書：A Guide to the Business Analysis Body of Knowledge(BABOKR Guide) Version 3.0

翻訳：IIBA®日本支部 BABOKR v3翻訳プロジェクト

(監修:清水 千博 翻訳:溝口 真理子、依田 光江、渡部 洋子)

※本書はIIBA®日本支部の委託を受けて株式会社アイテックが販売しております。

アジャイル セミナー

アジャイルソフトウェア開発入門

IT開発の現場では、効率的な手法としてアジャイル開発が注目されています。1.5日間の本研修で、実践を通しながらアジャイル開発に必須となるスクラムやストーリーの概念を身に付けることができます。

■ 研修の特徴

アジャイル開発を実際にされる方にとって役立つ基礎知識をはじめ、プロジェクトの進め方に重点をおいた解説を行いながら実際に実技を実践する。

■ 研修の受講目的

- ・アジャイルの考え方について学ぶ
- ・スクラム 概要を理解する
- ・XP原則・プラクティスを理解する
- ・アジャイル検定試験に要求される基本知識を得る

■ 次のような方にオススメ

- ・アジャイル開発手法の基礎知識を習得したい技術者やマネージャーの方。

● 講座内容詳細

受講費用	80,000円（税別）/1名 （書籍+パウチャー付き）
定員	25名
実施日	お問い合わせください
時間	1日目 10時～17時 2日目 10時～13時
場所	DAYS赤坂見附 http://www.days-akasaka.tokyo/

1日目	
アジャイル総論	XP概要
1.アジャイルとは	1.XPとは
2.アジャイルの背景	2.XPのプラクティス
3.アジャイルの登場	
スクラムとストーリー	チーム演習
1.スクラム概要	
2.ストーリーとは	
2日目	
アジャイル検定対策問題演習	
エクストリームアワーによる疑似アジャイルプロジェクト体験	

※本セミナーではPDU/CDU取得はできません。

担当講師：長瀬嘉秀

1986年、東京理科大学理学部応用数学科卒業。朝日新聞社を経て、1989年、株式会社テクノロジックアートを設立。OSF(Open Software Foundation)のテクニカルコンサルタントとしてDCE(Distributed Computing Environment)関連のオープンシステムの推進を行う。OSF日本ベンダ協議会DCE技術検討委員会の主査を務める。

現在、株式会社テクノロジックアート代表取締役。UML Profile for EDOCの共同提案者、ISO/IEC JTC1 SC32/WG2委員、UMLモデリング推進協議会(UMTP)監事、電子商取引推進協議会(ECOM)XML/EDI標準化調査委員。明星大学情報学部講師。中国浙江大学客員教授。著書として、『アジャイルプロジェクト管理』（共著、技術評論社）、その他多数。



アジャイル eラーニング

近年、アジャイル開発をはじめとする非ウォーターフォール型開発が、俊敏かつ柔軟な対応が可能なソフトウェア開発手法として、注目されています。

PMBOK[®]第6版でも「アジャイルへの適合」がより強化されました。

本講座では、『アジャイル開発』における基礎的な要素をWebで学習できます。

アジャイル開発の基礎

テクニカル 5PDU

受講期間

随時開講 3か月

修了条件

- 各テスト80%以上の正答率であること
- すべての学習教材を受講していること

18,000円（税別）

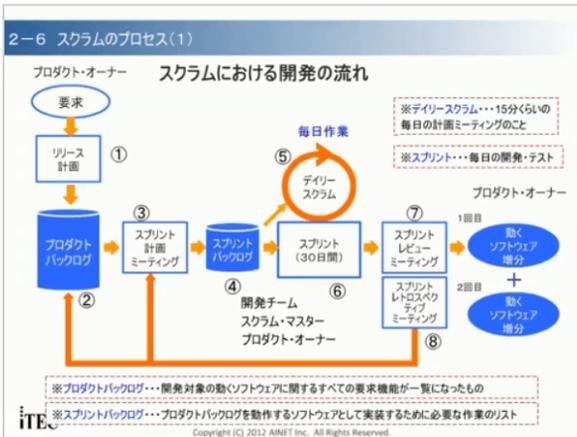
『アジャイル開発の基礎』eラーニングの項目	
第1章 アジャイル概要	
1-1	ソフトウェア開発
1-2	ソフトウェア開発における課題
1-3	アジャイル開発とは
1-4	アジャイル開発の歴史
1-5	アジャイルマニフェスト
1-6	アジャイルマニフェスト 1 2の原則
1-7	アジャイル開発の特徴
1-8	アジャイルのパラダイムシフト
1-9	アジャイル適用の効果
章末テスト 10問	
第2章 アジャイルのプロセス	
2-1	スクラムの原点
2-2	スクラムの精神
2-3	スクラム実践の基本
2-4	スクラムの場
2-5	スクラムチーム
2-6	スクラムのプロセス
章末テスト 10問	
第3章 エンタープライズアジャイル	
3-1	エンタープライズアジャイル
3-2	PMBOK [®] とアジャイル
3-3	ハイブリッドアジャイル
3-4	事例
3-5	チームとコラボレーション
3-6	アジャイルを成功に導くスキル
章末テスト 10問	
第4章 アジャイルとリーダーシップ	
4-1	アジャイルを成功に導くリーダーシップ
4-2	アジャイルのリーダーシップスタイル
4-3	サーバントリーダーシップとは
4-4	サーバントリーダーシップ5つの柱
4-5	サーバントリーダーシップの特性
4-6	アジャイル開発におけるリーダーシップのあり方
章末テスト 10問	
総まとめテスト 10問	

■ コースの特徴

音声とスライドによる解説と各章末問題で構成されたeラーニング形式の学習です。アジャイルシステム開発の概要と基礎となる知識が習得できます。若手SE向けの入門・開発演習の研修前の自己学習に最適です。

■ 研修の受講目的

- ・アジャイル 考え方について学ぶ
- ・スクラム 概要を理解する
- ・XP原則・プラクティスを理解する
- ・アジャイル検定試験に要求される基本知識を得る



※eラーニングイメージ図

ITIL[®]について

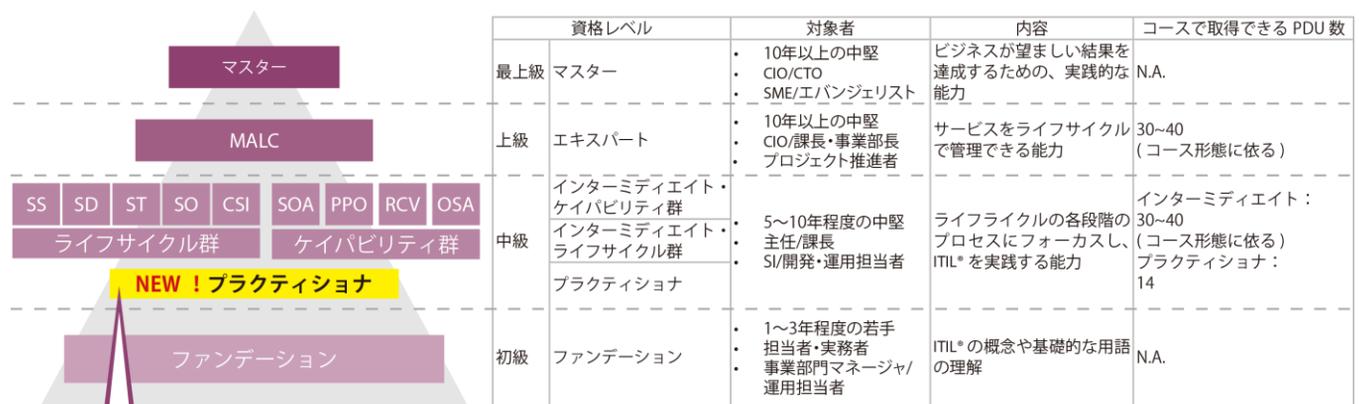
ITIL[®]について

1980年代後半に英国政府のOGC（Office of Government Commerce）がIT提供者に要求すべきサービス機能を整理し、手引書として開発。

現在は、ITシステムの運用や保守を効率的に管理・実践（PDCA構築）していくためのベスト・プラクティスをまとめたフレームワークとして、世界標準となっています。

先進的なITサービスマネジメント企業が、コンサルティング・サービス、教育、及びソフトウェア・ツールの基盤として採用しており、有益なフレームワークであることが実証されています。

ITIL[®]資格体系図



2017年5月より日本語対応が開始した新資格が登場！

2017年5月より、ITIL[®]の資格体系に「ITIL[®] プラクティシヨナ」が加わりました。「ITIL[®] 概念の理解、応用、分析の能力を証明すること」が今までの資格内容でしたが、今回の資格はより実践的な能力を問うものとなっています。

ITIL[®]取得で期待される効果

よくある悩み

コストがかかったり、納期が遅れたり、最近やたら問題が多発している。

属人化を解消したい。スタッフが自分なりの対処をされていて品質にバラつきが出ている。

開発部門と運用部門の引継ぎがうまくいかない。

期待される効果

システム安定運用に向けたリスク管理能力

客観的で体系的な課題抽出が出来るようになる。継続的改善の計画と実施が出来るようになる。

品質を可視化する能力

ノウハウを社内で共有できるようになる。スタッフ全員が質の高いサービスを提供できるようになる。

ITSMを継続的に提供する能力

開発部門と運用部門の相互理解が深まり連携がうまくいくようになる。

ITIL[®] 通信教育コース

本コースは、ITIL[®]2011年版の日本語版に対応しており、ファンデーション試験対策のためのWEB学習と書籍をセットでご提供いたします。ITIL をこれから学びたい方にオススメです。

ITIL[®] 2011 ファンデーションコース

- 演習問題はデータベースからランダム抽出。
- 理解度をより深めるため、選択肢もシャッフルされます。
- 出題領域ごとに即時採点・表示されます。
- 正答率は80%以上で合格圏内となります。

受講期間

随時開講 3か月

受講目的

- ITサービスマネジメントの目的を理解する
- ITILとその価値を理解する
- ITILが定義する各プロセスの概要を理解する

9,000円（税別）

※本コースではPDU/CDU取得はできません。

■ セット内容



ITIL[®] 概要



eラーニング

■ eラーニング

学習内容	分野別	出題分野
サービスマネジメント全般	5問	登録問題数 300問以上
サービスストラテジ	5問	
サービスデザイン	5問	
サービスランジション	5問	
サービスオペレーション	5問	
継続的サービス改善	5問	
機能/技術	5問	
演習問題総まとめ	10問	全体から10問
模擬テスト	40問	全体から40問

教材『ITIL[®] 概要』のポイント



ITIL[®]書籍 5冊の概要を図表を使って平易な文章で説明。

- ファンデーション試験（シラバス2011）を模擬した演習問題がついており、自習書として利用することもできます。
- 豊富な情報から絞り込まれたテーマは、ファンデーション試験の必修用語を網羅。
- ITILエキスパートの知識と経験に基づいており、理解すべき重要な概念がわかりやすくまとめられています。
- ITIL用語集や略語集によって、必要な情報を迅速にアクセス可能。

【コンテンツ提供】オリーブネット株式会社



POINT

ITILのノウハウを現場で活かしていますか？

アイテックでは、ITILを実際の業務で活かすために必要な能力を、講義やグループワークにより習得できるセミナーを開催しております。

➤ **ITサービスマネジメント実践（移行/運用）** 【16PDU取得可能】

※日程や価格などの詳細はお問い合わせください。

ITIL® 上位資格 集合研修

プラクティショナ

通常コース
(試験無し)

14PDU取得可能

受講期間

集合研修 2日間

110,000円 (税別)

2017年5月より日本語対応を開始した
プラクティショナコース対策研修！！ITILプラクティショナの主なコンセプトである
CSIアプローチを実務へ適用する方法を学習し、
「組織の改善を先導できる」能力を身に付けます。
理論学習と演習とを同時並行で学習できます。

取得可能PDU

リーダーシップ	ストラテジ& ビジネスマネジメント
7	7

※試験代は含まれておりません。別途試験をお申し込みください。(試験代 38,000円)

インターミディエイト / MALC

通常コース
(試験付)

40PDU取得可能

受講期間

集合研修 5日間

389,000円 (税別)

5日間の集合研修を通してITIL®上位の内容を
学習します。
理論学習と演習とを同時並行で学習できます。

取得可能PDU

	テクニカル	リーダー	ストラテジ
SOA	10	20	10
PPO	20	10	10
RCV	10	20	10
OSA	10	10	20

ブレンドコース
(試験付)

30PDU取得可能

受講期間

eラーニング+集合研修 3日間

325,000円 (税別)

通常コースと学習内容は同じですが、
eラーニングによる事前学習と、集合研修が
3日間の学習時間が少し短めのコースです。理論のインプットを事前学習で済ませている
為、演習の比率が少し遅めの進行になって
います。

取得可能PDU

	テクニカル	リーダー	ストラテジ
全種共通	10	10	10

情報の安全性を高めるための専門教育
セキュリティ関連



PCI DSS
セキュリティエンジニア養成講座 (CND,CEH)

PCI DSS eラーニング

● PCI DSS

PCI DSS（PCIデータセキュリティ基準）とは、国際カードブランド5社（American Express, Discover, JCB, MasterCard, VISA）が定めた、カード会社、加盟店、その他関連事業者を対象としたカードデータのためのセキュリティ基準です。

各カードブランドはそれぞれ独自のセキュリティ基準と準拠プログラムを制定していたため、加盟店はそれぞれに準拠し監査を受けるという負担が生じていました。そこで加盟店側の効率を考慮し、カードブランドが連携し、共通のセキュリティ基準の制定に至りました。

米国では法制化されている州も複数あり、日本でもカードブランドや監督行政機関が、安全なカードデータの取り扱いを目的に普及を推進しております。

2013～2018年におけるPCIデータセキュリティ基準（PCI DSS）を取り巻く状況

一般社団法人日本クレジット協会（経済産業大臣が指定する認定割賦販売協会）が下記のとおり各業界にPCI DSSの準拠を要請しております。

- 2018年3月までに大半の国内クレジットカード会社の準拠
- 2018年3月までに一定規模を持つクレジットカード加盟店の準拠
- 全てのクレジットカード決済代行会社の準拠

● PCI DSS認定のメリット

PCI DSS準拠により、企業価値（信用、ブランド）の向上はもちろんのこと、これまでの個人情報保護制度と違い、より具体的にセキュリティポリシーを定義されることにより、現実的にハッカーやクラッカー等による様々な不正アクセスからお客様のサイトを保護しサイトの改ざんや悪用、情報盗用などのリスクを低減します。

また、PCI DSSを推進する国際カードブランドのいくつかは、加盟店等からカードに関する情報が流出して不正使用された場合、その加盟店がPCI DSSに準拠していれば、その損害が免責されることがあるとしています。

◎技術者の教育が急務です！

- ・ カード会社様のシステム開発、運用のご担当者
- ・ カード加盟店様のシステム開発、運用のご担当者
- ・ カードシステムに関わるSI事業者様、運用事業者の担当者様
- ・ コンサルティング会社のご担当者様

● PCI DSS認定取得について

PCI DSSの具体的な対応方法は、カード情報の取扱い形態や規模によって、訪問審査、サイトスキャン、自己問診の3つの方法があり、カード情報の取扱い規模や事業形態によって、複数を実施する必要があります。

いずれの方法でも、規定された12の「要件」に準拠していることと適切な運営が求められます。

PCI DSS eラーニング

- 国内初、業界初!!
- PCI DSSを学習できるeラーニングコース

PCI DSS3.2.1 教育トレーニング

PCI DSSとは、クレジットカード業界初のセキュリティ基準です。
金融業、流通業、通信/メディア/公共機関、製造業等、幅広い企業のPCI DSS順守の対応が想定されます。
アイテックでは、国内初となるPCI DSSの概念と要件をeラーニングで学習できるコースをご用意。

受講期間

随時開講 6か月

92,000円（税別）

PCI DSSの概念と要件を理解する!!



PCI DSS Requirements and Security Assessment Procedures v3.2.1』要件の前文を含め、全12要件の概要、各要件を満たすシステム条件や文書化要求などポイントが整理されており、要件を理解しながら準拠の準備・適切な運営の維持を可能にします。

幅広い業界で多くのPCI DSS監査実績を持つICMS社QSAの監修により、PCI DSS要件の目的を把握し、確実な準拠と適切な運営へのガイドとなる実用的な教材をWEBで学習します。

<監修> 国際マネジメントシステム認証機構 (ICMS) 代表 取締役社長、
PCI DSS QSA監査員 上野 洋一

コース受講の目的

- ・ PCI DSSの概念と要件を理解して、自社ビジネスに最適な準拠の仕方、運営を行えるようにする。
- ・ PCI DSS要件の概略を学び、QSA同等の知識を目指す。

コース受講の特長

PCI SSC(米国PCIセキュリティ基準審議会)が提供するQSAトレーニングの資料や各種セキュリティスタンダード等を参考にした、監査実績多数の監査員 (QSAs) 監修による実用的な教材です。

こんな方にオススメ

- ・ PCI DSS準拠検討・準備中、準拠中の方
- ・ コンサルの方
- ・ ITご担当者の方

各パートのレッスン時間と学習目安時間

出題問題数
100問以上



セキュリティエンジニア養成講座

エンジニアに求められるセキュリティスキル

情報セキュリティ人材の不足が叫ばれる中、高いスキルと実行力・判断力を持った人材の育成は急務となっています。

- ▶ セキュリティが分かる人材が社内にはいない
- ▶ セキュリティ担当者になって何をどうやって勉強したらよいかわからない
- ▶ 余分なコストと時間をかけないで、実行力のあるスキルを身に付けたい

セキュリティに関するスキル習得でお悩みの方にセキュリティエンジニア養成講座をおすすめします。

セキュリティエンジニア養成講座とは

GSXが開講しているEC-Council認定の情報セキュリティトレーニングコースです。世界に数ある教育コースの中でも、極めて実践的であり、即戦力となる人材を短期間に育て上げるコースとして、既に145ヶ国を超える国々で提供され、20万人を超える有資格者が米国国防総省や国家安全保障局をはじめ、世界の重要システムを防衛しています。本講座では、セキュリティの専門家（日本人講師）による日本語化コンテンツを利用し、最新のセキュリティ事情を加味し、網羅的かつ体系的に実践的な技術を習得できます。

講座の特長

▶ 集中講義

講師は全員、サイバーセキュリティに特化した実績ある現役プロハッカーを人選。資格保有、複数大学での講師経験者等、経験豊富なハッカーが講師を担当します。

▶ 仮想環境 iLabs

セキュリティの学習環境は気を付けないと、攻撃者に利用されてしまうことがあります。（例えば、攻撃の踏み台として使われることがあります）。

iLabs は、この様な「知らないうちに加害者になってしまう」等の心配なくご利用頂けます。

▶ 実践演習

先端のラボ環境で各種ツールを利用して、実際に設定や対策の効果を体験として学ぶことができます。受講後も仮想環境へは6ヶ月間のアクセスが可能で、スキル習得のための実践的な演習を会社、自宅で行えます。（※英語コンテンツ）

▶ 認定試験

コース修了条件を満たし、受講開始後1年以内に認定試験を受験、70%以上の正答率でグローバル資格であるEC-Councilの認定資格（CND,CEH）を得ることができます。

CND、CEHとは

CND（認定ネットワークディフェンダー）



ネットワークトラフィック、パフォーマンス、利用率、ネットワークポロジ、システムの設置場所、セキュリティポリシーなどに精通しているネットワーク技術者が、ITセキュリティインシデントの初期段階からセキュリティに関する「防御、検出、対応」ができれば、事態の悪化を最小限にすることができ、ネットワークの構築や再構築時にも潜在的なリスクを排除することができます。

CEH（認定ホワイトハッカー）



CEHは、最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演／実用に重点を置いた、エシカル・ハッキング／情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムです。「現実の攻撃手法」を体系的に学んで頂くことで、ホワイトハッカーとして「攻撃者視点」の判断力を習得し、効果的な防御に活かすことができます。

セキュリティエンジニア養成講座

CND（認定ネットワークディフェンダー）

ネットワーク技術者からネットワークセキュリティ技術者へスキルアップ

本講座は、「予測可能な防御スキル」「事後対応の方法」「インシデントに対する遡及的対応」の3つの観点からのアプローチで、ネットワークセキュリティ技術者に求められるスキルの習得を支援いたします。

受講期間

5日間（月～金曜日）または3日間（水～金曜日）
10：00～18：00

コース内容

5日の座学およびテキスト、演習環境iLabsのID（6か月間有効）、認定資格試験（受講開始後1年以内に受験が必要）バウチャー

CNDコース参加要件

- ①ネットワークの概念について基礎的な知識を有していること（ネットワークエンジニアとして2～3年程度の経験）
- ②Cisco CCDAまたはCCN, CompTIA Network+またはSecurity+, IPA ネットワークスペシャリストの資格保有者または同等のスキル保有者

受講費用（税別）：398,000円

学習内容

コンピュータネットワークと防御の基礎
ネットワークセキュリティの脅威、脆弱性、攻撃
ネットワークセキュリティのコントロール、プロトコル、デバイス
ネットワークセキュリティポリシーのデザインと実装
物理セキュリティ
ホストセキュリティ
ファイヤーウォールの安全な構成と管理
IDSの安全な構成と管理
VPNの安全な構成と管理
無線ネットワークの防御
ネットワークトラフィックのモニタリングと分析
ネットワークリスクと脆弱性の管理
データのバックアップとリカバリ
ネットワークインシデント対応と管理

CEH（認定ホワイトハッカー）

「攻撃者視点」で自社を守るホワイトハッカーを育成

最新のセキュリティ脅威、高度な攻撃手法と、最新のハッキングの技術、ツールや手口を学ぶことができます。

「現実の攻撃手法」を体系的に学ぶことで、ホワイトハッカーとして「攻撃者視点」の判断力を習得し、効果的な防御に活かすことができます。

受講期間

5日間（月曜日から金曜日） 10：00～18：00

コース内容

5日の座学およびテキスト、演習環境iLabsのID（6か月間有効）、認定資格試験（受講開始後1年以内に受験が必要）バウチャー

CEHコース受講要件

- 下記の内容が理解できれば問題ありません(予習推奨)
- 1) CCNAレベルのネットワークに関する内容
 - 2) LPIC Level1程度のLinuxに関する内容
 - 3) 企業で導入されているFirewallなどネットワーク・セキュリティ機器の構成
 - 4) 下記ツールの使い方
 - ・ Wireshark や tcpdump
 - ・ nmap
 - ・ ローカルプロキシ (Burp Suite、 Fiddler、Owasp Zed Attack Proxy)

受講費用（税別）：498,000円

学習内容

ホワイトハッキングの紹介
フットプリンティングと調査
ネットワークの診断
列挙
システムハッキング
マルウェアの脅威
スニффイング
ソーシャル・エンジニアリング
サービス拒否 (DoS)
セッションハイジャック
Webサーバのハッキング
Webアプリケーションのハッキング
SQLインジェクション
ワイヤレスネットワークのハッキング
モバイルプラットフォームのハッキング
IDS、ファイアウォールハニーポットの回避
クラウド・コンピューティング
暗号技術

商品一覧

	商品名	PDU	価格（税別）	発売日・開講日	ページ
PMP®					
書籍	『PMP®試験 合格虎の巻 第6版対応』	-	3,200円	発売中	P10
書籍	『PMBOK®ガイド問題集 第6版対応』	-	1,700円	発売中	P10
書籍	『プロジェクトマネジメントリテラシ』	-	2,700円	発売中	P10
通教	PMP®試験対策コース第6版対応 宿題メール付	15	35,000円	随時開講	P11
Web	プロジェクトマネージャ養成コース	25	48,000円	随時開講	P12
Web	プロジェクトを基盤とする情報活用戦略マネジメント	10	25,000円	随時開講	P13
Web	プロジェクトマネージャに求められるリーダーシップ	10	25,000円	随時開講	P13
BA（ビジネスアナリシス）					
書籍	『ビジネスアナリシス知識体系ガイド Version3.0』	-	9,000円	発売中	P14
Web	BA概説講座（BABOK® Ver.3対応）	12	30,000円	随時開講	P14
アジャイル					
セミナー	アジャイルソフトウェア開発入門	-	80,000円	お問合せください	P15
Web	アジャイル開発の基礎	5	18,000円	随時開講	P16
ITIL®					
Web	ITIL®2011ファンデーションコース	-	9,000円	随時開講	P18
ITIL® 上位資格					
セミナー	ITIL®プラクティショナ 通常コース（試験無し）	14	110,000円	お問合せください	P19
セミナー	ITIL®インターミディエイト 通常コース（試験付）	40	389,000円	お問合せください	P19
Web+ セミナー	ITIL®インターミディエイト ブレンドコース（試験付）	30	325,000円	お問合せください	P19
PCI DSS					
Web	PCI DSS3.2.1 教育トレーニング	-	92,000円	随時開講	P22
セキュリティエンジニア養成講座					
Web+ セミナー	CND（認定ネットワークディフェンダー）	-	398,000円	お問合せください	P24
Web+ セミナー	CEH（認定ホワイトハッカー）	-	498,000円	お問合せください	P14



お申し込み / お問い合わせ

WEBからのお申し込み

<https://www.itec.co.jp/store/>

または、下記「お問い合わせ」内、法人営業部までお申し付けくださいませ



法人向けお申し込みサイトについて

<https://www.itec.co.jp/inquiry>



- ・アイテックのご提供商品が簡単、迅速にご購入いただけます
- ・見積書の出力や見積書からのご購入が可能です
- ・過去の購入履歴がご参照いただけます
- ・一度請求、納入先などをご登録いただけますと、繰返しご利用いただけます
- ・受講者情報を一括登録できるCSVアップロード機能が搭載されております
- ・お申込毎に必要な社印の押印が不要です
- ・弊社導入法人様限定のECサイトです (予めご登録が必要です)
- ・3,000円以上 (税込) ご購入の場合、送料無料
- ・ご利用をご検討されるお客様はお問合せください

お問い合わせ

<https://www.itec.co.jp/contact/>

または

TEL:03-6824-9001

(担当：サービスデスク 月～金 (祝祭日除く) : 10:00～17:00)

【法人営業部 直通】

TEL:03-6824-9007

メール: hojin@itec.co.jp



公式SNS



twitter

どこよりも早くアイテックの新品や情報処理の最新情報をお届けします。
https://twitter.com/ITEC_shikaku



facebook

一人一人のキャリアビジョンを実現させるために一緒に考え、悩み、共に成長していきける、そんなコミュニティを目指します。
<https://www.facebook.com/ITEC.Community>



blog

受験生の合格体験記など学びに役立つノウハウ満載。
<http://www.itec.co.jp/blog/>

会社概要

■商号	株式会社アイテック			
■沿革	旧株式会社クリエイティブソリューションズ		旧株式会社アイテック	
	1995年 1月	フォーバルグループのHR事業を担うべく創業	1983年 5月	「株式会社情報処理技術者教育センター」を設立
	1998年 2月	業務拡大のため、オフィスを渋谷に移転	1991年 1月	「株式会社アイテック」へ商号変更
	2000年 11月	アジア人材紹介事業を開始	2013年 10月	「株式会社フォーバル（JASDAQ上場、証券コード「8275」）」の連結子会社となる
	2018年 4月	株式会社クリエイティブソリューションズと株式会社アイテックが合併し、株式会社アイテックとなる		

■資本金 80,000,000円

■取締役	代表取締役社長	加納 敏行
	取締役副社長 教育事業本部長	土元 克則
	取締役 人材事業本部長	澤田 朗
	取締役 管理本部長	久保田 善之
	取締役(非常勤)	加藤 康二
	取締役(非常勤)	行 辰哉

■事業概要 通信教育事業、書籍の出版・販売事業、企業向け社員研修事業
ITエンジニアの派遣事業
東南アジアにおける現地幹部候補・留学生の人材紹介

■所在地	・本社	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-17-5 シオノギ渋谷ビル11階 人材事業本部 TEL：03-6825-5301 FAX：03-3797-3704
	・教育事業本部	〒108-0074 東京都港区高輪2-18-10 高輪泉岳寺駅前ビル4階 TEL：03-6824-9010 FAX：03-5795-0231
	・教育事業本部 西日本支社	〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル15階 TEL：06-6535-7420 FAX：06-6535-7421

■主要取引先

- アマゾンジャパン合同会社
- アイコムシステック株式会社
- IIBA日本支部
- インフォメーションサービスフォース株式会社
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- NECマネジメントパートナー株式会社
- SCSK株式会社
- NTTラーニングシステムズ株式会社
- MS&ADシステムズ株式会社
- NECネットエスアイ株式会社
- 株式会社NHKメディアテクノロジー
- 株式会社NTTデータユニバーシティ
- 株式会社NTTデータ アイ
- NECソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社NTTドコモ
- 株式会社大阪屋栗田
- 株式会社OKIソフトウェア
- 関西電力株式会社
- 一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会
- 株式会社クレスコ
- KDDI株式会社
- 国税庁
- NTTコムウェア株式会社
- 株式会社さくらケーシーエス
- 株式会社JR東日本情報システム
- JRAシステムサービス株式会社
- Sky株式会社
- 住友林業情報システム株式会社
- ソフトバンク株式会社
- 株式会社大和総研
- TIS株式会社
- TISソリューションリンク株式会社
- 株式会社トーハン
- 東芝テックソリューションサービス株式会社
- 株式会社東邦システムサイエンス
- 東京海上日動システムズ株式会社
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 日本出版販売株式会社
- 株式会社西村書店
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- 日本政策金融公庫
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社日本総合研究所
- 株式会社日本マンパワー
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 日本電気通信システム株式会社
- 株式会社日立インフォメーションアカデミー
- 株式会社日立ハイシステム21
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- 東日本電信電話株式会社
- 株式会社富士通ラーニングメディア
- 株式会社フォーバル
- 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所
- 防衛省 航空幕僚監部
- みずほ情報総研株式会社
- 三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社
- 三菱電機コントロールソフトウェア株式会社
- 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
- 株式会社村田製作所
- 株式会社ラック
- 株式会社リクルートテクノロジー
- リコーITSソリューションズ株式会社
- ワールドビジネスセンター株式会社

等（50音順・敬称略）

